



CentOS Linux から AWS 上の Red Hat Enterprise Linux への移行



Red Hat Enterprise Linux のビジネス価値

CentOS Linux のような無料版 OS と比較すると、Red Hat Enterprise Linux では、チームがどこで作業していてもより多くのことをより短時間で行うことができます。²

- ▶ **32% 向上**: IT インフラストラクチャ・チームの効率
- ▶ **42% 高速化**: セキュリティリスクの特定
- ▶ **23% 迅速化**: 新しいアプリケーションの開発ライフサイクル
- ▶ **72% 短縮**: 予定外のダウンタイム
- ▶ **24% 削減**: 3年間の運用コスト
- ▶ **1,731万ドル増加**: 1組織あたり年間平均の純収入

ビジネス上の取り組みをサポートするオペレーティングシステムとクラウドプロバイダーを選ぶ

あらゆる業界の組織が、コストの最適化、効率化、迅速なイノベーションを実現するためにクラウドに移行しています。実際、企業はワークロードの 50% をクラウド環境で実行し、データの 48% をクラウド環境でホストしています。また、44% の組織では、より多くのワークロードをクラウドに移行することが最重要課題となっています。¹

しかしながら、クラウドへの移行は IT の複雑性を増しかねません。クラウド戦略では、潜在的なセキュリティリスク、運用の非効率性、予算の超過を回避しながら、クラウド投資から最大限の効果を得るための慎重な計画が必要です。

データセンターとクラウド環境間で一貫性のあるオペレーティングシステムを使用して標準化することで、複雑さを克服し、クラウドへの移行を単純化することができます。柔軟性とイノベーションを提供するオープンソースの開発モデルである **Linux®** は、クラウド環境に最適な選択肢です。ただし、すべての Linux ディストリビューションが同じというわけではなく、ディストリビューションの選択がクラウドやデータセンター環境の効率、パフォーマンス、セキュリティ、コストに大きな影響を与える可能性があります。

無料で利用可能でコミュニティがサポートする Linux ディストリビューションである CentOS Linux を使用している組織は、現在、選択を迫られています。CentOS Project は、2021 年 12 月に CentOS Linux 8 のリリースとアップデートの提供を終了しましたが、2024 年 6 月には CentOS Linux 7 のすべてのアップデートとリリースを終了する予定です。そのため、CentOS Linux ユーザーがアップデート、パッチ、新機能を引き続き受け取るためには、新しいオペレーティングシステムに移行する必要があります。新しいオペレーティングシステムの実装は面倒に思えるかもしれませんが、これを機に、組織は自社のニーズを再評価し、現在および将来にわたってクラウド戦略をより適切にサポートするプラットフォームを選択することができます。

Red Hat® Enterprise Linux は、先進的な IT とエンタープライズ・ハイブリッドクラウドのデプロイメントのための一貫したインテリジェントな運用基盤です。**Amazon Web Services (AWS)** 上で Red Hat Enterprise Linux を実行することで、お客様の組織に最適なメリットがもたらされます。CentOS Linux は Red Hat が公開したソースから派生したもので、同じスキル、技術、要素の多くを引き続き使用でき、また、クラウドで成功するために必要な機能、ツール、サポート、価値を獲得できます。

f fb.com/RedHatJapan
t twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

¹ Flexera, 「Flexera 2023 State of the Cloud Report」、2023 年 3 月。

² IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援) 「無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値」、2023 年 3 月、Document #US50423523。

概要 CentOS Linux から AWS 上の Red Hat Enterprise Linux への移行



プロダクショングレードのクラウド基盤で標準化

一貫性は、クラウド移行を成功させるために重要な要素です。データセンターとクラウド環境にまたがる運用基盤を単一の基盤で標準化することで、クラウドへの道筋を大幅に単純化できます。運用と管理を複数のドメインに分割せずに、単一セットのツールとプラットフォームを使用して、データセンターとクラウドの間でアプリケーションとワークロードをデプロイ、実行、移動できます。

AWS 上で Red Hat Enterprise Linux が動作している場合、データセンターとクラウド・インフラストラクチャが統合されるため、運用を効率化し、柔軟性を高め、クラウドへの投資を最大限に活用できます。クラウド対応でセキュリティに特化したオペレーティングシステムは、フットプリント全体で一貫したカスタマイズされた体験を提供し、また、先進的なクラウド・インフラストラクチャは常時稼働のキャパシティ、統合されたセキュリティ、そして柔軟なサービスを提供します。Red Hat Enterprise Linux は、AWS 上で使用するために検証および認定済みです。Red Hat と AWS は、両社のコラボレーティブなソリューションを通じて、お客様が成功するために必要な信頼性、アジリティ、効率性、およびセキュリティの機能を提供できるように連携しています。

CentOS Linux は、Red Hat が一般公開しているソースから派生したもののですが、同じオペレーティングシステムではなく、同じエンタープライズ向けの機能、ツール、サポートを提供するものではありません。Amazon Web Services 上の Red Hat Enterprise Linux に移行すると、Red Hat のソフトウェア、自動化、管理テクノロジーのポートフォリオとの使用が認定済みの、最新のエンタープライズ向け Linux イノベーションに直接アクセスできます。製品間の統合、パートナー製品の大規模なエコシステムでの認定、アーキテクチャとバージョンの選択により、ハイブリッドクラウド環境の相互運用性が向上します。徹底的なテストと強化が行われ、制御された信頼できるソフトウェア・サプライチェーンを持つ Red Hat Enterprise Linux により、信頼性を損なうことなくイノベーションを促進できます。また、Red Hat と AWS は主要なハードウェアおよびソフトウェアベンダーと提携し、より多くの選択肢、イノベーション、安定性を提供しています。実際、すでに使用しているサードパーティ製品やツールを AWS 上で動作する Red Hat Enterprise Linux で引き続き使用できる可能性は低くありません。

場所を問わず開発者をサポート

本番環境とは異なる環境でアプリケーションを開発およびテストすると、本番で問題が発生することがあります。また、開発者が生産性を最大限に高めるために必要なツール、リソース、サポートを受けられないこともあるでしょう。AWS 上で動作する Red Hat Enterprise Linux のような共通の基盤を開発やテスト、本番環境に採用することで、新しいアプリケーションの立ち上げまでの時間を効率化し、立ち上げ時の非互換性や問題発生リスクを低減できます。Red Hat Enterprise Linux は信頼できるオペレーティングシステム・イメージに AWS 上で容易にアクセスできるほか、開発から本番までのパスを効率化するために必要なツールチェーン、ライブラリ、コンテナツール、ランタイムを提供します。アップデートは [アプリケーション・ストリーム](#) を通じて配信されるので、開発者と IT アーキテクトは最新のツール、ランタイム言語、データベースを試すことができ、前のバージョンにアクセスしてプロダクション・アプリケーションをメンテナンスすることもできます。

また、Red Hat は開発者に特化したリソース、プログラム、サブスクリプションを提供しており、組織は Red Hat Enterprise Linux での開発をより簡単に、コスト効率よく行うことができます。[Red Hat Developer プログラム](#)、[Red Hat Developer サブスクリプション \(個人用\)](#)、[Red Hat Developer サブスクリプション \(チーム用\)](#) は、データセンターと AWS 環境の両方で使用できます。



Red Hat Developer を通じてツールやリソースにアクセス

[Red Hat Developer プログラム](#) は、問題を解決し、仲間とつながり、最新情報について知り、プロジェクトを前進させるためのツール、テクノロジー、ビルダーのコミュニティを提供します。

[Red Hat Developer サブスクリプション \(チーム用\)](#) は、すでに Red Hat 製品を使用している組織が無料で利用できる、Red Hat Developer の e ブック、チートシート、その他の有用なコンテンツへのアクセスが含まれています。



移行を効率化する

[Convert2RHEL ツール](#)は、CentOS Linux システムを直接 Red Hat Enterprise Linux システムに簡単かつ迅速に変換できるため、より早くより少ないコストと手間ですべて移行することができます。

AWS での Convert2RHEL の使用方法について詳しくは、[こちらのブログ](#)をお読みください。



スキルパスを構築する

[Red Hat ラーニングサブスクリプション](#)では、トレーニングコンテンツ、ラボ、動画に無制限にアクセスできるため、チームはスキルギャップを埋め、Red Hat 製品を最大限に活用することができます。

ハイブリッドクラウド環境におけるセキュリティとコンプライアンスの維持

78% の企業にとって、セキュリティは依然としてクラウドの最重要課題となっています。¹クラウドにおけるセキュリティとコンプライアンスを効果的に維持するには、一貫性が欠かせません。CentOS Linux には高度なセキュリティ管理ツールが含まれておらず、政府や公的機関によるセキュリティ認定も受けていません。

Amazon Web Services 上の Red Hat Enterprise Linux は、インフラストラクチャとソフトウェアスタック全体に、統合および自動化されたセキュリティ機能を提供します。スキャンツール、セキュリティプロファイル、[セキュリティ基準認定](#)、[信頼できるソフトウェア・サプライチェーン](#)などの組み込み型のオペレーティングシステム・セキュリティ機能が、現在のセキュリティとコンプライアンスに対する高い期待に対処するための助けとなります。Red Hat と AWS は、Red Hat Enterprise Linux のすべてのセキュリティプロファイルを検証し、それらが AWS インフラストラクチャ上で期待どおりに動作することを確認しています。また、AWS には[高度なセキュリティ機能](#)と多数のコンプライアンス認定および認証も含まれています。AWS のポリシー、アーキテクチャ、運用プロセスは、厳しいセキュリティ要件に基づいて構築されています。

Red Hat 製品セキュリティチームは、リスクを迅速に監視して特定し、それに対処し、セキュリティ評価に役立つツールとデータを提供します。また、Red Hat と AWS は現在の問題に対するセキュリティアドバイザリーを提供し、必要に応じてお客様と連携し、セキュリティ上の問題を解決することができます。自動化されたツール、定期的なアップデートとパッチのリリース、専門知識の提供によって、組織の環境を保護します。Red Hat Insights のコンプライアンスサービスは、組織の環境全体でコンプライアンス要件を順守しているかどうかを追跡できるよう支援し、長期にわたるコンプライアンス維持に役立つ修復ガイダンスを提供します。

クラウド費用をよりの確に制御する

82% の企業にとって、クラウド費用の管理はクラウドの最重要課題です。¹ Red Hat と AWS は、お客様の予算や要件に合わせた複数の購入オプションを提供しています。

- ▶ Red Hat からサブスクリプションを購入し、オンサイトまたは [Red Hat Cloud Access](#) 経由で AWS 上で使用できます。
- ▶ [AWS Marketplace](#) から Red Hat Enterprise Linux のインスタンスを入手できます。
- ▶ AWS Enterprise Discount Program (EDP) の資金と AWS 上の Red Hat Enterprise Linux インスタンスの割引を利用できます。
- ▶ Red Hat Hybrid Committed Spend プログラムを利用すれば、オンサイトおよび AWS 上で割引価格と柔軟な支払いオプションが適用されます。

これらのオプションについて、詳しくは[概要をご覧ください](#)。

将来のためのプラットフォームに移行する

Red Hat では、Red Hat Enterprise Linux への移行を容易にするプロセスやプログラムをご用意しています。Red Hat の [Convert2RHEL ツール](#)を使用すると、CentOS Linux システムを簡単かつ迅速に Red Hat Enterprise Linux システムに直接変換できます。Convert2RHEL は、既存のオペレーティングシステムのカスタマイズ、構成、設定をコンバージョン中も維持することで、コストのかかる再デプロイメント・プロジェクトの必要性を最小限に抑え、管理者の負担を軽減します。

また、Red Hat コンサルティングを利用することで移行を加速できます。Red Hat のエキスパートは、確かな知識と経験によって移行プロジェクトをサポートします。重要なアプリケーションやワークロードの特定と変換を支援し、お客様がその後も自信を持って続行できるように指導します。

移行を検討し始めたばかりの場合は、2 週間の [CentOS to RHEL on AWS Migration Assessment](#) をご利用いただくと、移行の計画と分析に関する明確な戦略を得ることができます。Red Hat のエキスパートがお客様のチームと連携し、システムを CentOS Linux から既存のインフラストラクチャに基づくサポート対象の Red Hat Enterprise Linux にインプレース変換するための詳細な推奨事項を提供します。

自信を持って前進する

CentOS Linux の廃止は、クラウドの取り組みをより適切にサポートするオペレーティングシステムへの移行の機会になります。

AWS 上の Red Hat Enterprise Linux for Third Party Linux Migration with ELS は、単純化された変換プロセスをお求めやすい価格で提供し、Red Hat Enterprise Linux をより利用しやすいものにします。CentOS Linux のサポート終了 (EOL) を過ぎてもさらに時間が必要な場合は、Red Hat Enterprise Linux 7 のライフサイクルサポートを最大 4 年間延長することができるため、より新しいリリースに移行する準備が整うまで環境の一貫性を維持できます。AWS 上の Red Hat Enterprise Linux は、インテリジェントなプロダクショングレードのハイブリッドクラウド基盤をもたらし、ビジネス成果の達成を支援するイノベーションの実現に貢献します。

[AWS 上の Red Hat Enterprise Linux for Third Party Linux Migration with ELS](#) の詳細をご覧ください。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼される](#)アドバイザーであり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001 803 440 224	マレーシア 1 800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1 800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052

[fb.com/RedHatJapan](#)
[twitter.com/RedHatJapan](#)
[linkedin.com/company/red-hat](#)